

新しい生活様式

日々、幼稚園の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にご理解やご協力をいただいているところですが、なかなか終息することが難しく、緊急事態宣言の発出となりました。幼稚園でも感染症拡大防止の対策として、マスク着用や手洗い、アルコール消毒の徹底、そしてできるだけソーシャルディスタンスを保つことに取り組んでいます。



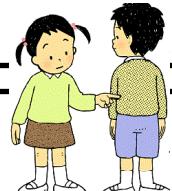
「見て!今日はこのマスクだよ」

入園式前から3歳児のお家の人が「マスク、付けるのですよね」とお尋ねがありました。幼稚園に通うようになり、初めてマスクを付ける子どももいたのだと思います。4月、「マスク、付けようね」「○ちゃんのマスク、どこかな?」と先生に促されることも多かったのですが、最近はほぼ自分でマスクを付けることが普通になってきています。朝、「見て!今日はこのマスクだよ」と嬉しそうに指をさして見せてくれます。お家の人も子どもの思いに合わせてマスクを用意してくださっているのが伝わってきます。先生と同じ白いマスクだった日も「一緒!」と喜んでいます。



「先生が来るまでに消毒しどう」

ある日の4歳児のお弁当前のことです。先生が机を並べたり、パーテーションパネルを出したりして場所が整うと子どもたちが自分の椅子やリュックサックを持って好きな場所を選びます。そして気の合う友達と一緒に用意を始めています。「先生が来るまでに消毒しどう」と業者弁当を職員室に取りに行っている先生の姿が見えない時に友達と声を掛け合っていました。○ちゃんは消毒のボトルを持って、友達のところへ行き、「消毒した?」とサービスしています。自分たちで消毒の必要性を感じ、取り組んでいます。



「ソーシャルディスタンスや」

降園前、職員室前の廊下でお家の人のお迎えを待っている5歳児。椅子に座って待つのですが、「ちょっと間が狭いかな?」と伝えると「わかった!ソーシャルディスタンスや」と□ちゃんも△ちゃんも椅子と椅子の間を広くあけて座り直しました。

また、クラスのみんなで製作をした後、お弁当の時間になりました。先に製作の片付けを終えた子どもたちに先生が「机を友達と一緒に出して食べる用意をしようか。そうそう、ソーシャルディスタンスを考えてほしいな」と伝えました。すると遊戯室に机を広く配置します。そしてパーテーションパネルも前に置くものと横に置くものの長さの違いを教えてもらうと、早速、「これはこっち。これは…ここ」と自分たちで準備ができました。

大人にとっても子どもにとっても新しい生活様式を生活習慣として取り入れなければなりません。子どもたちも日々、学び、幼稚園の生活に取り入れています。3歳児は3歳児なりに、そして4歳児は4歳児なりに、毎日の積み重ねでわかっています。気の合う友達と遊びたい、一緒にそばに居たいと思う幼児には、ソーシャルディスタンスはなかなか難しいことです。いつもソーシャルディスタンスをあけて、どの場面でもソーシャルディスタンスを取ってということは5歳児にも難しいのですが、「ソーシャルディスタンス」の一言が何を意味しているのか理解しています。健康を守るために、感染を予防するために、新しい生活様式を身に付けてほしいと願っています。